

事例18

< 事例概要 >

人工股関節全置換術

- ① 70 歳代後半、体重40 kg 台、大動脈弁置換術後の患者。抗血栓薬内服中（休薬あり）。
- ② 変形性股関節症に対し、人工股関節全置換術を施行。
- ③ 寛骨臼の手術操作に伴い出血。血圧40 mmHg台となり、自己血と昇圧薬を数回投与。術野に止血薬を散布し閉創。血圧は不安定で、さらに回収式自己血輸血を投与。術中出血量1,700 mℓ。退室時血圧60 mmHg台、心拍数90 回/分台。
- ④ 抜管直後、血圧50 ～ 80 mmHg台。患肢大腿の腫脹増強あり。ドレーン出血量300 mℓ。血管損傷の可能性を考え、他医療機関で血管造影の方針とした。搬送中、心肺停止となり、約1 時間後に死亡。
- ⑤ 死因は、血管損傷（疑い）による出血性ショック。死亡時画像診断（Ai）無、解剖有。